

板 碑

佐久市板碑図録集

昭和57年3月

佐久市教育委員会

例 言

- 1, 本書は、昭和56年9月1日～9月30日まで旧中込学校資料館において開催された『佐久市の板碑展』の展示資料に追補して編集した佐久市の板碑図録集である。
- 2, 本書掲載の写真は林幸彦が撮影し、拓本は森泉かよ子、林幸彦がとり、実測図は森泉かよ子、神部妙子が作製し、トレースは大井和子が行った。
- 3, 本書の編集は森泉かよ子が行い、林幸彦が校閲した。

また本書にあたっては、資料を提供して下さった所蔵者各位、資料収集に際して御協力いただいた佐久市文化財審議員の先生方には厚くお礼申し上げます。

凡 例

- 1, 掲載した写真は約 $\frac{1}{4}$ 縮少であるが、No.1・10が約 $\frac{2}{10}$ 縮少、No.3・4が約 $\frac{3}{10}$ 縮少となっている。
- 2, 拓影図は $\frac{1}{4}$ に縮少してある。
- 3, 実測図は $\frac{1}{4}$ 縮少である。

目次

例言

凡例

目次

板碑について

図版目次

図版一 No.1 時宗寺	1	図版十六 No.17 長命寺址	16
図版二 No.2 野沢字柏造	2	図版十七 No.18 長命寺址	17
図版三 No.3 龍雲寺	3	図版十八 No.19 長命寺址	18
図版四 No.4 正楽寺	4	図版十九 No.20 長命寺址	19
図版五 No.5 長命寺址	5	図版二十 No.21 長命寺址	20
図版六 No.6 長命寺址	6	図版二十一 No.22・No.23 長命寺址	21
図版七 No.7 明泉寺	7	図版二十二 No.24 原字宮巻	22
図版八 No.8 長命寺址	8	図版二十三 No.25 時宗寺	23
図版九 No.9 長命寺址	9	図版二十四 No.26 中城平	24
図版十 No.10 長命寺址	10	図版二十五 No.27 中城平	25
図版十一 No.11 長命寺址	11	図版二十六 No.28 安養寺付近	26
図版十二 No.12・No.13 長命寺址	12	図版二十七 No.29 明泉寺	27
図版十三 No.14 長命寺址	13	図版二十八 No.30 出土地不明	28
図版十四 No.15 長命寺址	14	図版二十九 No.31 “	29
図版十五 No.16 長命寺址	15	図版三十 No.32 武蔵国地藏院	30

挿図目次

第1図 佐久市板碑分布図	33
第2図 正楽寺板碑実測図	34
第3図 時宗寺板碑実測図	35
第4図 明泉寺板碑実測図	36
第5図 長命寺址板碑実測図	36

本文目次

1、佐久市の板碑	31
----------	----

佐久市板碑一覧表

板碑について

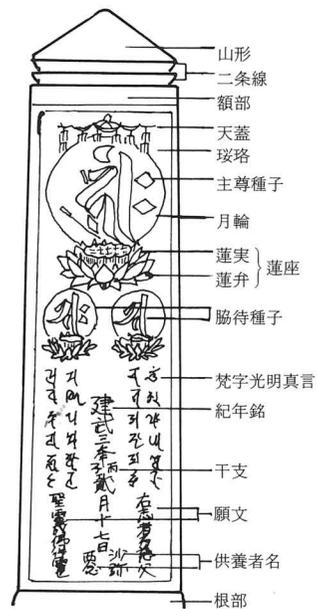
板碑は、五輪卒塔婆が変形省略されたもので、板状の石材を用いて作られたので、板石塔婆とも云われた。目的は死者又は自身（逆修）のために造られる供養塔であった。形は大小さまざまであるが、ほぼ一定して、上端を三角形とし、その下に二段の切り込みと頸部を作り、つづく本体の部には、阿弥陀三尊又本尊一体の画像、又はそれぞれ佛に当る梵字の種子をもって現わして更に願文・偈文・経文・願主名・年月日等を刻んだものがある。

鎌倉時代に始まり、南北朝時代・室町時代に最も流行した。所用の板石が緑泥片岩で、灰緑色である所から、俗に「青石塔婆」とも云われ、この石の産地が関東では殆ど秩父に限られていたこと等が、特色とされる。

長野県に於ける板碑は、その用材の産地秩父との関係から、佐久地域に最も多く造られ、その遺物も佐久地方に断然多いので、佐久の板碑を調査すれば、長野県の板碑を代表することが可能と云える。佐久に次いでは小県郡であるが、早く昭和5・6年頃南佐久郡下の板碑を研究された市川雄一郎先生の調査によれば、信州で最古のものは布引釋尊寺の永仁元年（1293）のもので、次いでは、小県旧塩尻信福寺跡出土の嘉元二年（1304）のもの、次は旧畑八村諏訪社蔵の徳治二年（1307）のものであるという。尚市川氏調査の当時は、南佐久12町村に33枚、北佐久7町村に9枚、小県3町村に15枚の存在が認められたという。

前記の通り、佐久は板碑に於いて信州を代表する産地であるから、昭和6年市川氏は、南佐久郡だけで33基を確認されており、その中の12枚は旧大沢村地家に在った旧長命寺跡からの出土品であったという。なぜかのように佐久の中、特に南部に多いかということは、その用材の産地、秩父と佐久との関係、特に十石峠による大日向・武道峠による相木方面との交通交易の歴史を考えれば、極めて容易に理解できることである。市川氏調査の33枚の中には、大沢の現長命寺所蔵の3枚、同地仁王堂所在の1枚、湯原法城院所蔵の1枚等が入っていない一面、当時の33枚が果してどうなっているか、行方不明に帰しているものが相当多いではないかという感が深い。

佐久市文化財審議員 平林富三



附図 板碑各部分の名称



No. 1

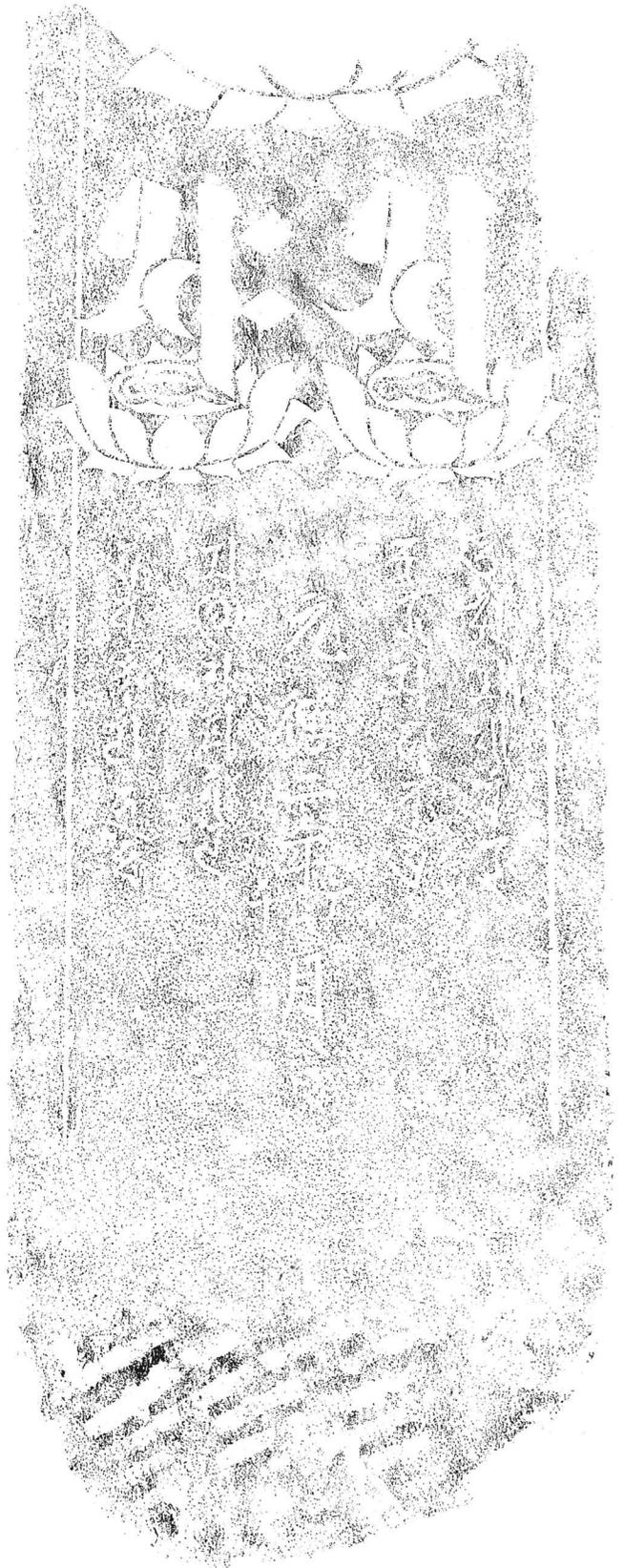
- 〔出土地〕 時宗寺
 〔寸法〕 全長（残存） 67.0cm
 幅 30.5cm
 厚さ 3.7cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 基礎部欠損
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）、蓮台
 〔銘文〕 弘安三年五月
 〔その他〕 天蓋1、花瓶2
 〔所蔵者〕 時宗寺



No. 2

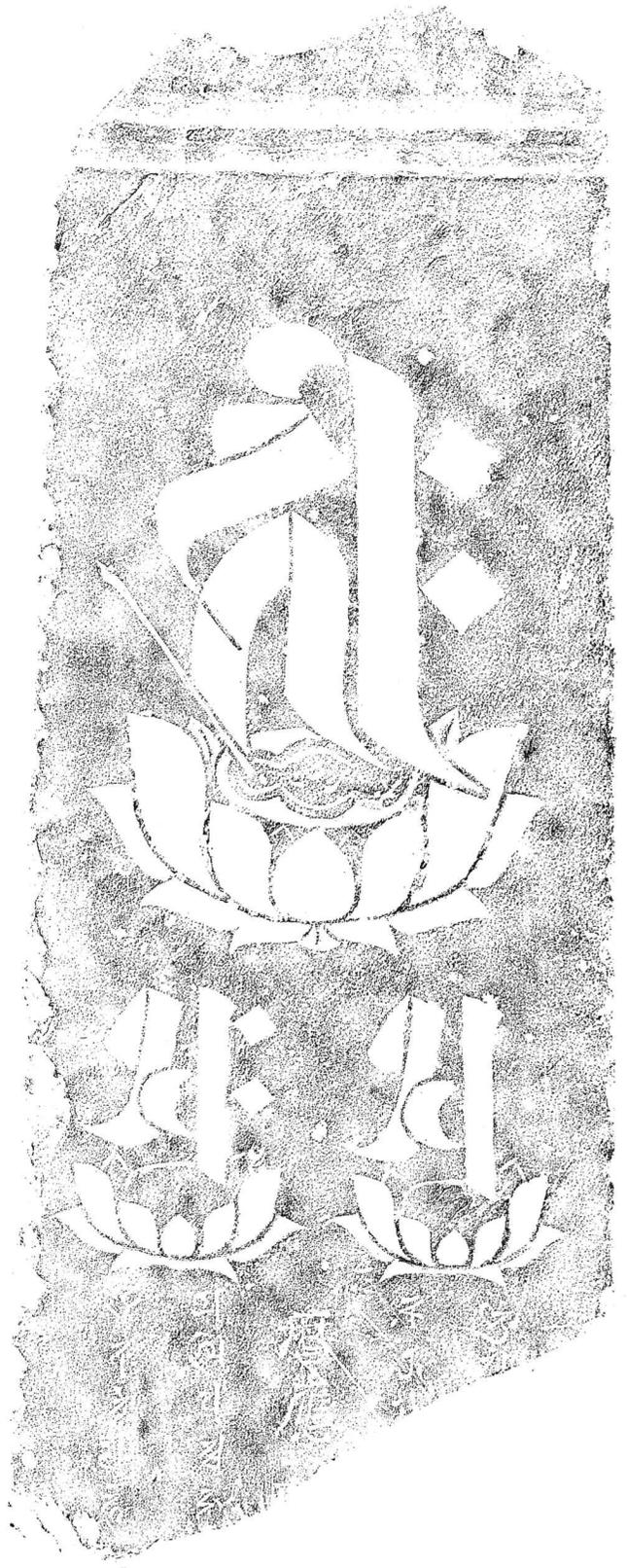
〔出土地〕 野沢字柏造
〔寸法〕 全長 69.7cm
幅 20.0cm
厚さ 2.2cm
〔石質〕 緑泥片岩

〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
〔種子〕 キリク（阿弥陀）、蓮台
〔銘文〕 嘉暦四年二月 日（1329）
〔その他〕 二条線あり
〔所蔵者〕 竹内治利（佐久市野沢）



No. 3

- 〔出土地〕 龍雲寺（佐久市岩村田）
 〔寸法〕 全長（残存） 85.0cm
 幅 40.0cm
 厚さ 3.5cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 頭部・弥陀種子より
 上部欠損する。
 〔脇種子〕 サク（勢至）、サ（観音）
 蓮台
 〔銘文〕 光明真言（2行）
 元徳二年庚午八月八日（1330）
 光明真言（2行）
 〔所蔵者〕 龍雲寺



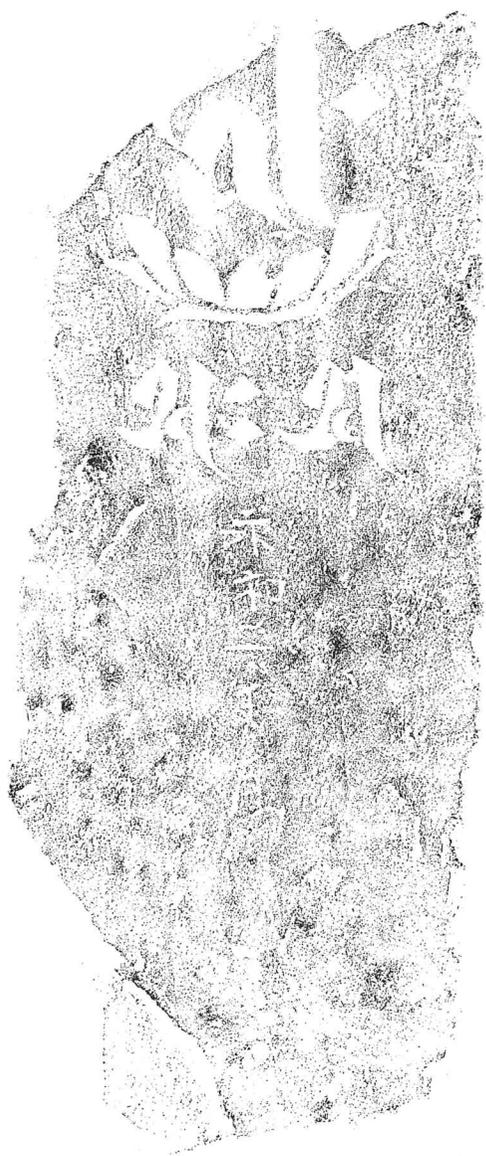
No. 4

- 〔出土地〕 不明
 〔寸法〕 全長 85.0cm
 幅 31.5cm
 厚さ 4.2cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 銘文下部基礎部欠損
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）、
 蓮台
 〔銘文〕 光明真言（2行）
 曆応四（1341）
 光明真言（2行）
 〔所蔵者〕 正楽寺



No. 5

- 〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長（残存） 48.0cm
 幅（残存） 20.5cm
 厚さ 2.0cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 頭部、身上部、片側欠損（種子及び左脇待種子欠損）
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）、蓮台
 〔銘〕 延文五年庚子二月（1360）
 〔所蔵者〕 阿部虎雄（佐久市大沢地家）



No. 6

- 〔出土地〕 長命寺址
〔寸法〕 全長 61.0cm
幅 24.5cm
厚さ 2.8cm
〔石質〕 緑泥片岩
〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
〔残存状態〕 頭部、身部種子上半部より欠損
〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）
〔銘文〕 永和二文月（1376）
〔所蔵者〕 大沢小学校



No.7

- 〔出土地〕 明泉寺
- 〔寸法〕 全長 53.5cm
幅 20.0cm
厚さ 4.2cm
- 〔石質〕 緑泥片岩
- 〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
- 〔残存状態〕 完存
- 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
- 〔銘文〕 永和三才七月 日（1377）
- 〔その他〕 二条線、粹線あり
- 〔所蔵者〕 明泉寺



No. 8

〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長（残存） 46.0cm
 幅 35.7cm
 厚さ 3.5cm

〔石質〕 緑泥片岩

〔様式〕

〔残存状態〕 頭部・身部
 欠損

〔銘文〕

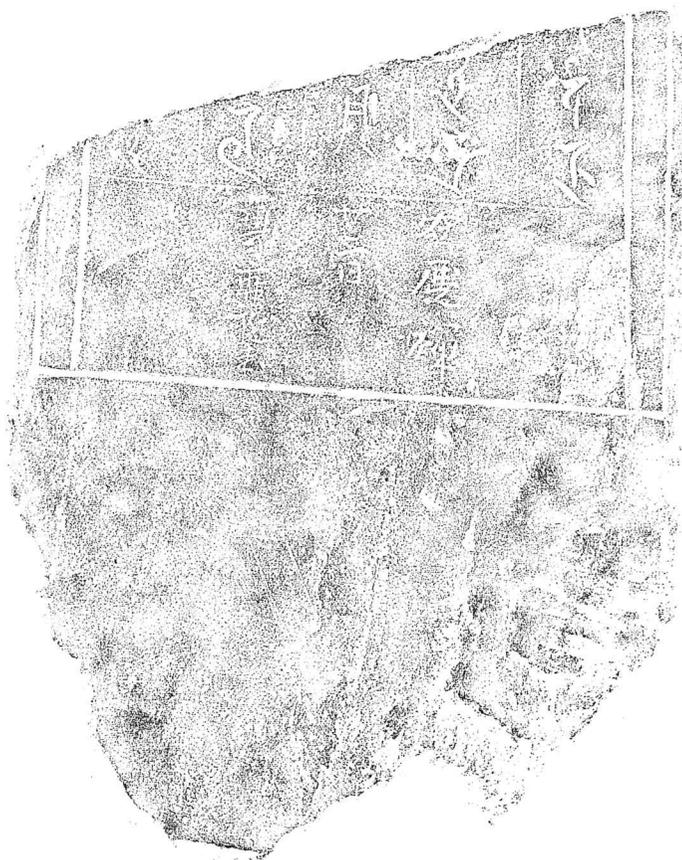
光明真言（2行） 右慶禪

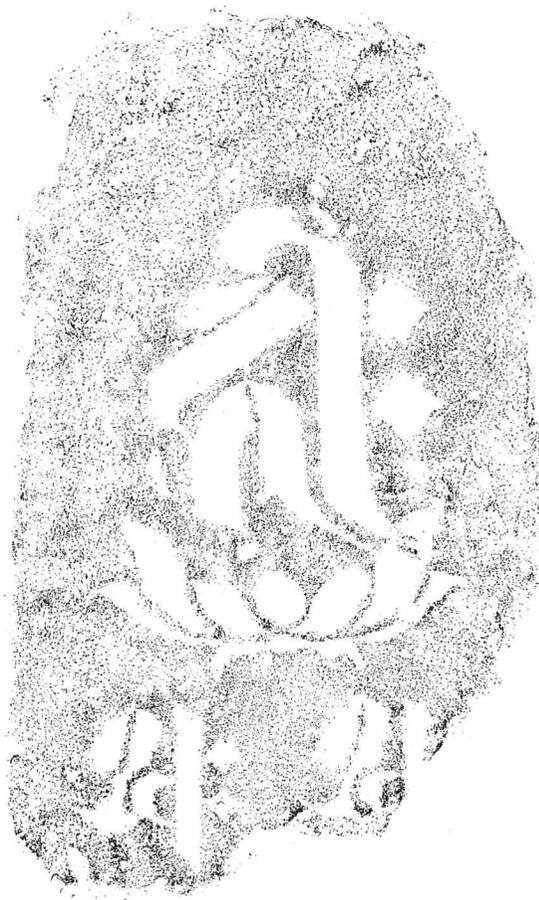
□□月廿二日

光明真言（2行） 尊靈逝去

〔その他〕 枠線あり

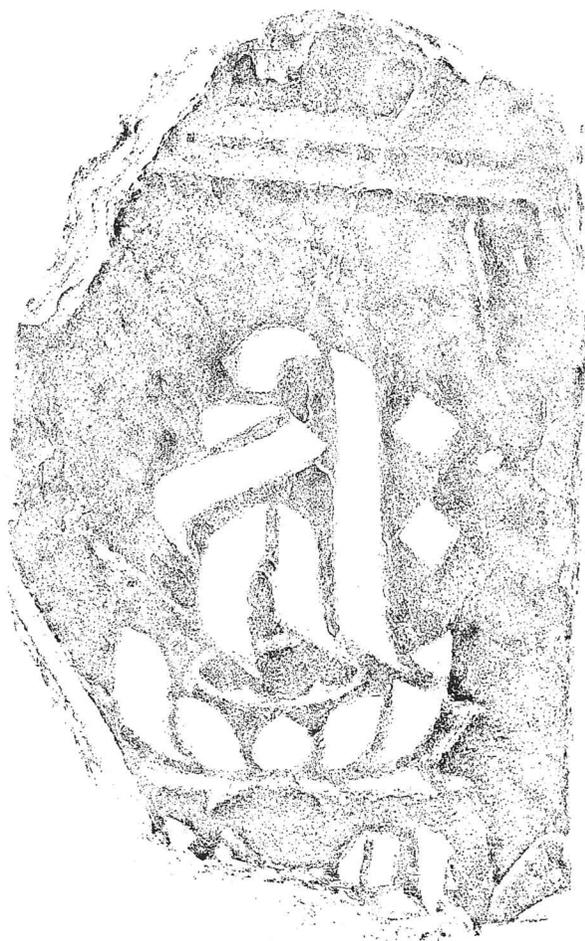
〔所蔵者〕 大沢小学校





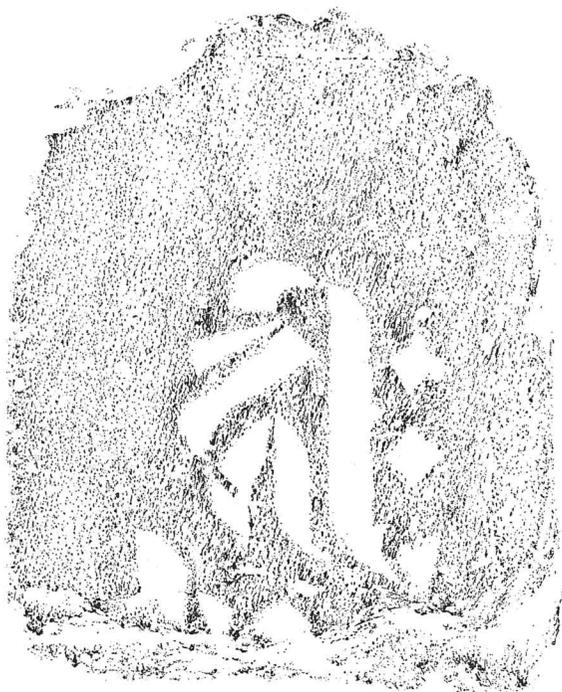
No. 9

- 〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長（残存） 48.0cm
 幅 28.0cm
 厚さ 3.5cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔残存状態〕 頭部一部、脇待種子以下の身部、基部欠損
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇種子〕 サク（勢至）、サ（観音）、蓮台
 〔所蔵者〕 長命寺（大沢）



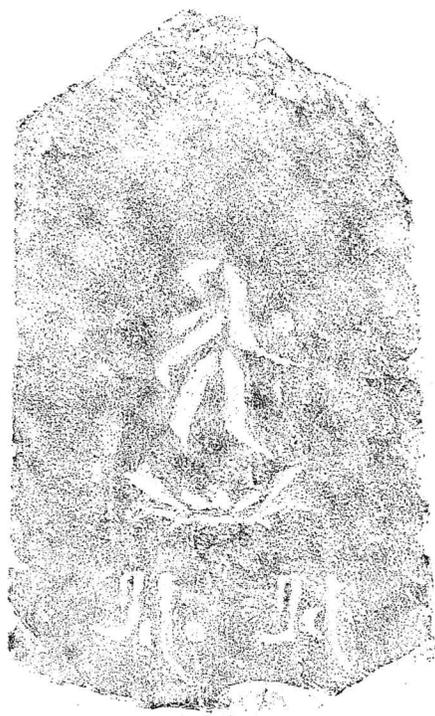
No.10

- 〔出土地〕 長命寺址
- 〔寸法〕 全長（残存） 44.0cm
幅 20.0cm
厚さ 3.5cm
- 〔石質〕 緑泥片岩
- 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
- 〔残存状態〕 頭部頂上一部、身部脇待種子以下欠損
- 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）
- 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）
- 〔その他〕 二条線あり
- 〔所蔵者〕 長命寺（大沢）



No.11

- | | |
|--------|-----------------------|
| 〔出土地〕 | 長命寺址 |
| 〔寸法〕 | 全長（残存） 35.0cm |
| | 幅 29.0cm |
| | 厚さ 3.8cm |
| 〔石質〕 | 緑泥片岩 |
| 〔様式〕 | |
| 〔残存状態〕 | 頭部頂上一部、身
部蓮台下部以下欠損 |
| 〔種子〕 | キリーク（阿弥陀） |
| 〔所蔵者〕 | 長命寺 |

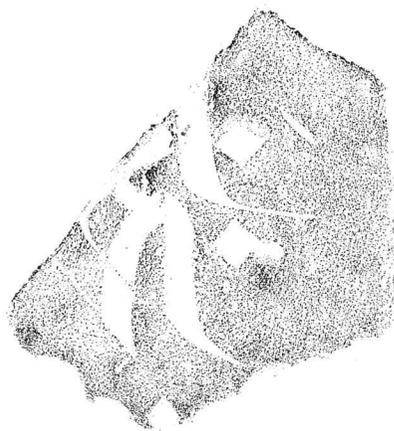


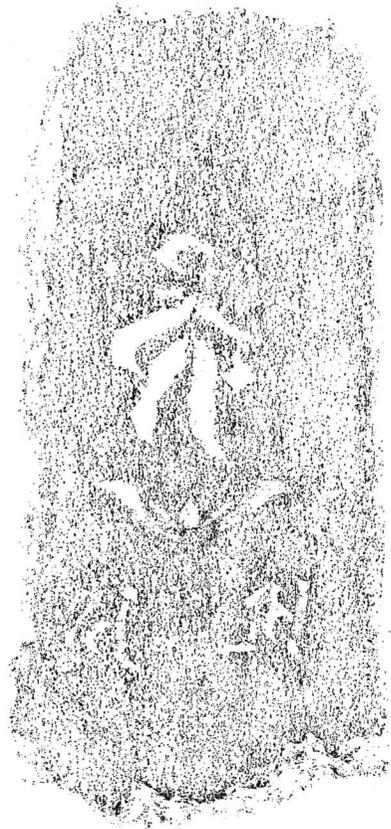
No.12

〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長（残存） 38.5cm
 幅 22.5cm
 厚さ 2.5cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 身部脇待種子以下欠損
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）
 〔銘文〕 欠損
 〔所蔵者〕 竜泉院（大沢地家）

No.13

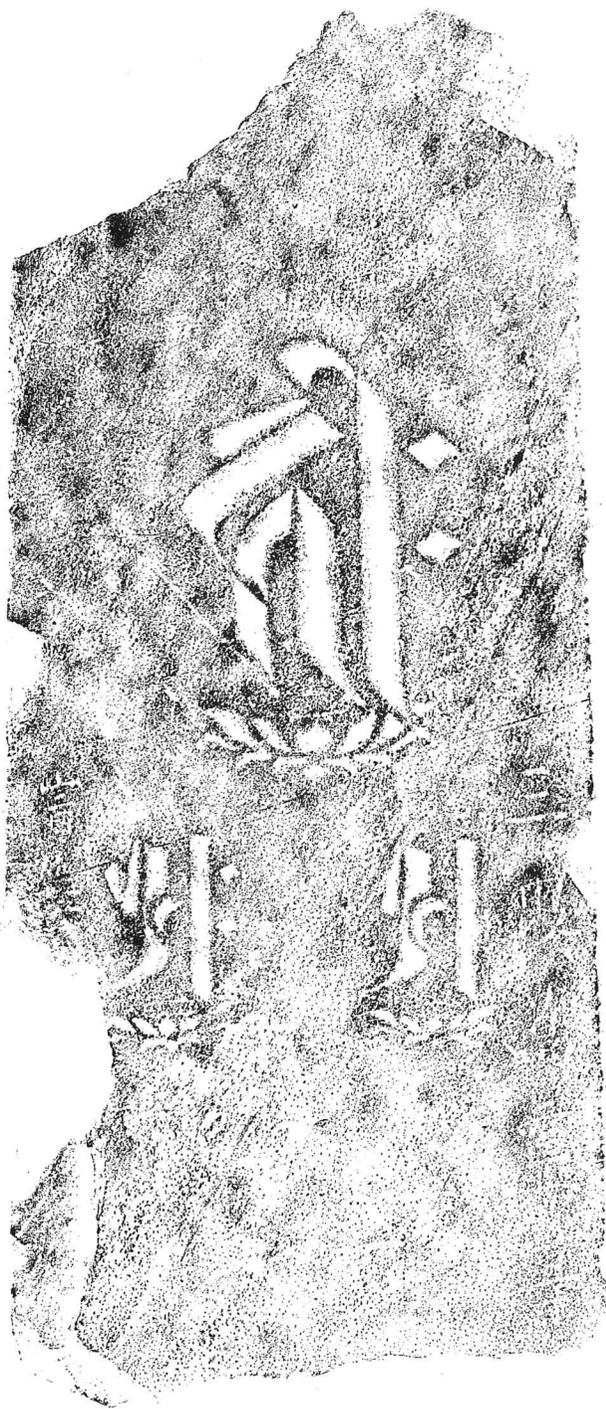
〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長（残存） 17.0cm
 幅 23.0cm
 厚さ 1.8cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子
 〔残存状態〕 種子のみ残存
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）
 蓮台
 〔所蔵者〕 大沢小学校





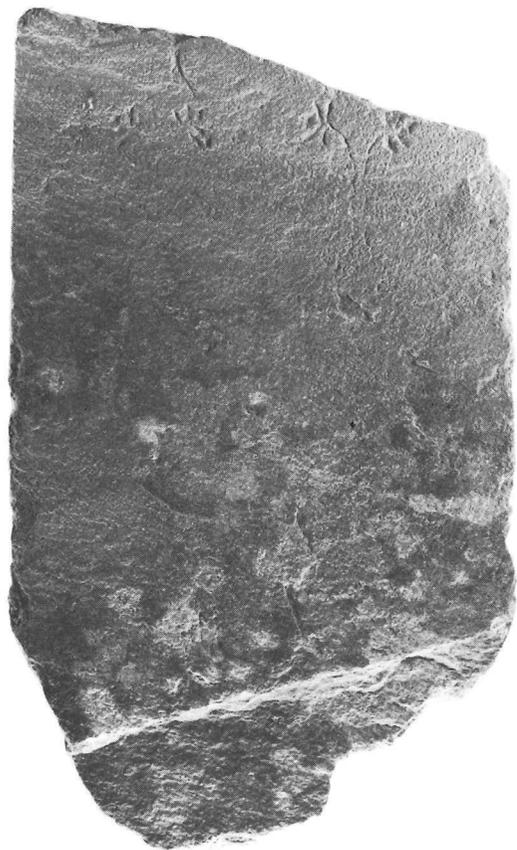
No.14

- 〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長（残存） 48.0cm
 幅 30.5cm
 厚さ 2.5cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 頂上部、身部下部欠損
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）
 〔銘文〕 なし
 〔所蔵者〕 大沢小学校



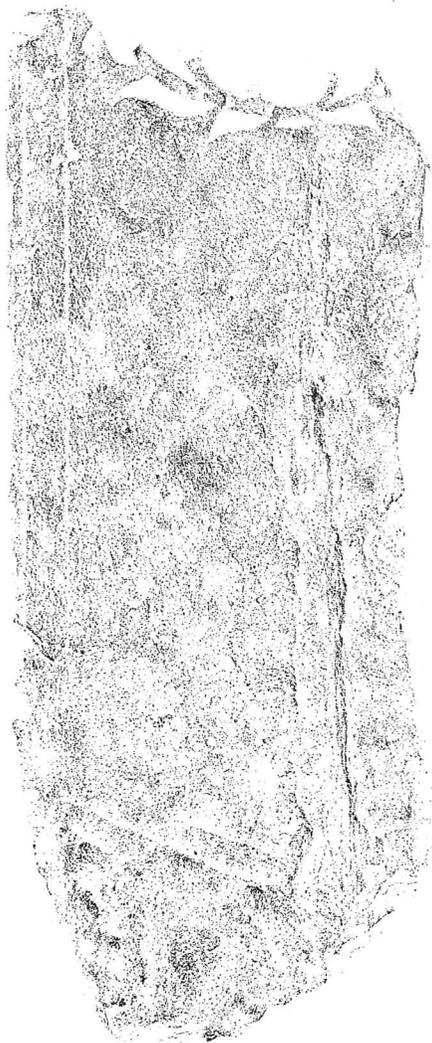
No.15

- 〔出土地〕 長命寺
 〔寸法〕 全長(残存) 78.0cm
 幅 32.0cm
 厚さ 3.0cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 頭部一部、身部下以下、片端一部欠損
 〔種子〕 キリク(阿弥陀)、蓮台
 〔脇待種子〕 サク(勢至)、サ(観音)、蓮台
 〔銘文〕 三界萬靈逝去、寛□
 〔所蔵者〕 竜泉院(大沢地家)



No.16

- 〔出土地〕 長命寺址
- 〔寸法〕 全長（残存） 44.0cm
- 幅 27.0cm
- 厚さ 2.8cm
- 〔石質〕 緑泥片岩
- 〔様式〕
- 〔残存状態〕 身部種子から上部欠損
- 〔その代〕 花瓶2あり
- 〔所蔵者〕 竜泉院（大沢地家）



No.17

- 〔出土地〕 長命寺址
〔寸法〕 全長（残存） 56.0cm
幅（残存） 23.5cm
厚さ 2.5cm
〔石質〕 緑泥片岩
〔様式〕
〔残存状態〕 頭部、身部蓮台上部より欠損
〔銘文〕 判読不能紀年銘あり
〔その他〕 枠線あり
〔所蔵者〕 竜泉院（大沢地家）



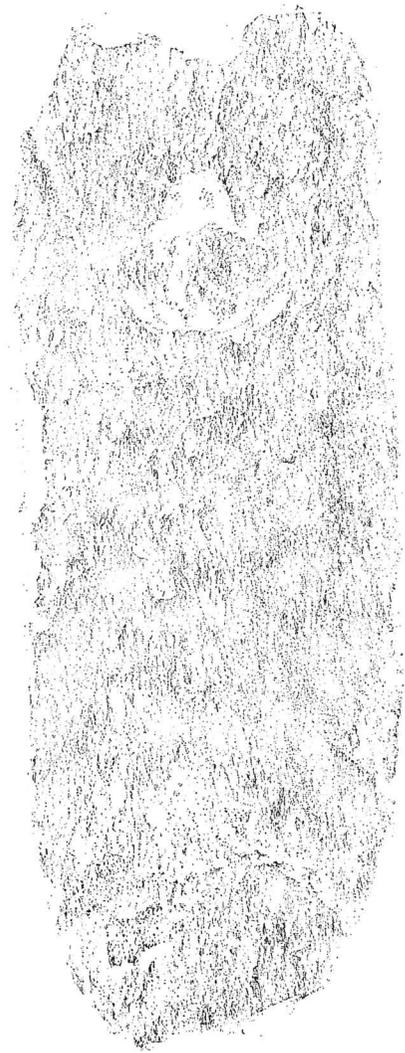
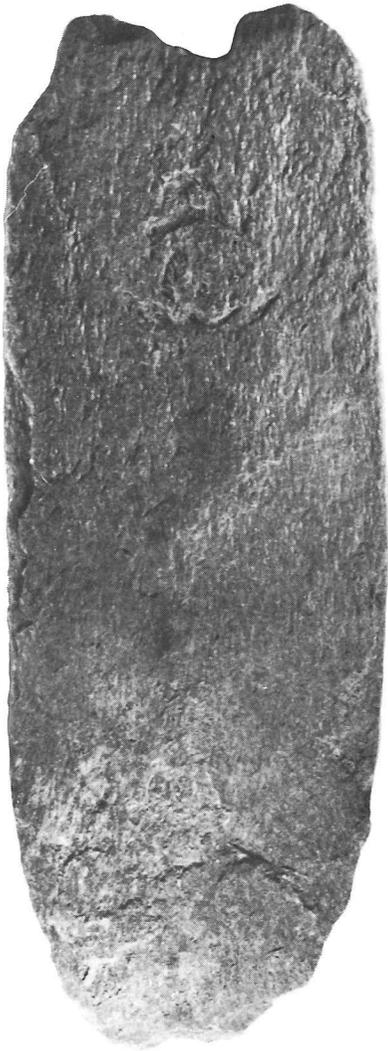
No.18

- 〔出土地〕 長命寺址
- 〔寸法〕 全長 60.0cm
幅 21.0cm
厚さ 3.7cm
- 〔石質〕 緑泥片岩
- 〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
- 〔残存状態〕 完存
- 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
- 〔銘文〕 なし
- 〔所蔵者〕 大沢小学校



No.19

- | | |
|--------|-----------|
| 〔出土地〕 | 長命寺址 |
| 〔寸法〕 | 全長 67.4cm |
| | 幅 21.5cm |
| | 厚さ 3.0cm |
| 〔石質〕 | 緑泥片岩 |
| 〔様式〕 | 弥陀種子一尊板碑 |
| 〔残存状態〕 | 完存 |
| 〔種子〕 | キリーク（阿弥陀） |
| 〔銘文〕 | なし |
| 〔所蔵者〕 | 大沢小学校 |



No.20

- 〔出土地〕 長命寺址
- 〔寸法〕 全長（残存） 56.0cm
幅 21.0cm
厚さ 2.5cm
- 〔石質〕 絹雲母片岩
- 〔法式〕 弥陀種子一尊板碑
- 〔残存状態〕 頭部頂上部一部欠損、表面剝落著しい
- 〔極子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
- 〔銘文〕 なし
- 〔所蔵者〕 阿部虎雄（大沢地家）



No.21

- 〔出土地〕 長命寺址
〔寸法〕 全長 55.5cm
幅 17.5cm
厚さ 3.0cm
〔石質〕 緑泥片岩
〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
〔残存状態〕 上部片側一部欠損
〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
〔銘文〕 なし
〔所蔵者〕 阿部虎雄（大沢地家）



No.22

〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長 43.5cm
 幅 13.8cm
 厚さ 2.0cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 画像
 〔残存状態〕 完存
 〔画像〕 阿弥陀来迎図、
 蓮台
 〔銘文〕 なし
 〔その他〕 廊線2本あり
 〔所蔵者〕 大沢小学校



No.23

〔出土地〕 長命寺址
 〔寸法〕 全長(残存) 24.0cm
 幅 13.5cm
 厚さ 1.7cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 画像
 〔残存状態〕 基礎部欠損
 〔画像〕 阿弥陀来迎図
 蓮台
 〔銘文〕 欠損
 〔その他〕 二条線あり
 〔所蔵者〕 泉小学校



No.24

〔出土地〕 佐久市大字原字宮巻38. 墓地

〔寸法〕 全長(残存) 73cm

幅 27cm 厚さ 2.5cm

〔石質〕 緑泥片岩

〔様式〕 弥陀種子三尊板碑

〔残存状態〕 上部片側欠損

〔種子〕 キリーク(阿弥陀)、蓮台

〔脇待種子〕 サク(勢至)、サ(観音)

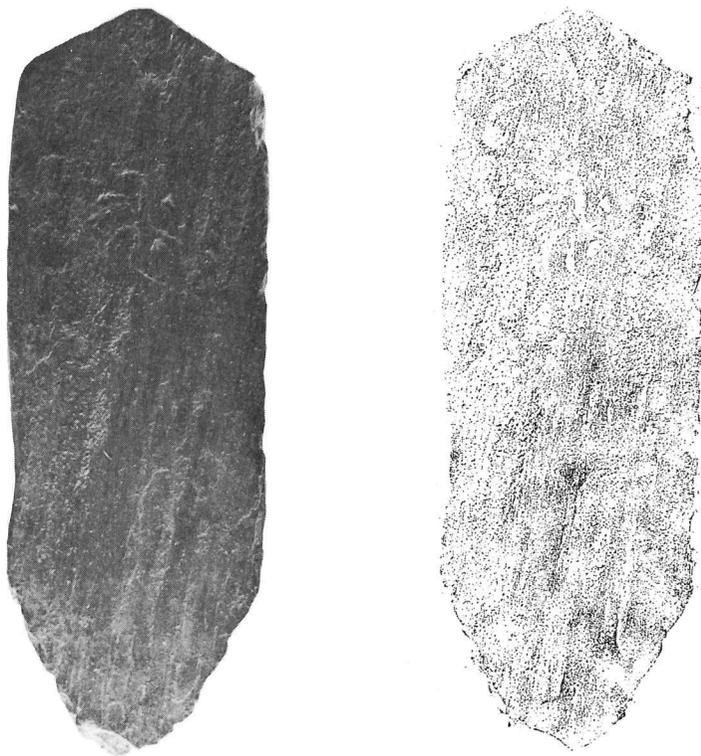
〔銘文〕 なし

〔その他〕 花瓶一対 〔所蔵者〕 長岡三八男(佐久市大字原428)



No.25

- 〔出土地〕 時宗寺
 〔寸法〕 全長 62.5cm
 幅 23.0cm
 厚さ 3.5cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 完存
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔脇待種子〕 サク（勢至）、サ（観音）
 〔銘文〕 なし
 〔所蔵者〕 時宗寺



No.26

〔出土地〕	中城平
〔寸法〕	全長 40.0cm 幅 14.0cm 厚さ 2.2cm
〔石質〕	緑泥片岩
〔様式〕	弥陀種子一尊板碑
〔残存状態〕	完存
〔種子〕	キリーク（阿弥陀）
〔銘文〕	なし
〔所蔵者〕	柳沢護（佐久市瀬戸）



No.27

- 〔出土地〕 中城平
 〔寸法〕 全長（残存） 42.4cm
 幅 17.2cm
 厚さ 2.5cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔銘文〕 なし
 〔所蔵者〕 桜井忠一郎（佐久市瀬戸）



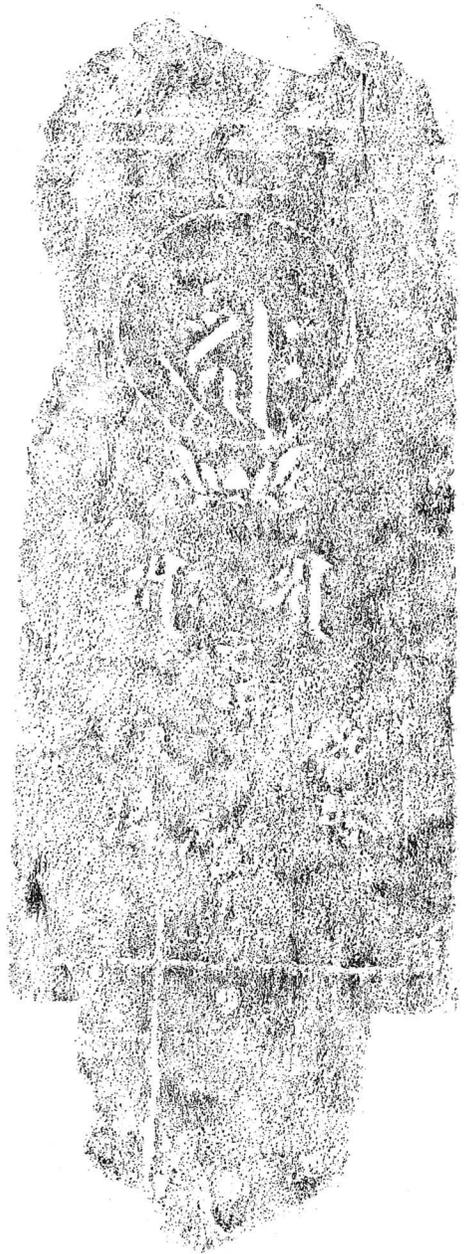
No.28

- 〔出土地〕 安養寺付近
〔寸法〕 全長（残存） 43.3cm
幅 22.0cm
厚さ 2.7cm
〔石質〕 緑泥片岩
〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
〔残存状態〕 身部種子残存
〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
〔所蔵者〕 佐久教育会



No.29

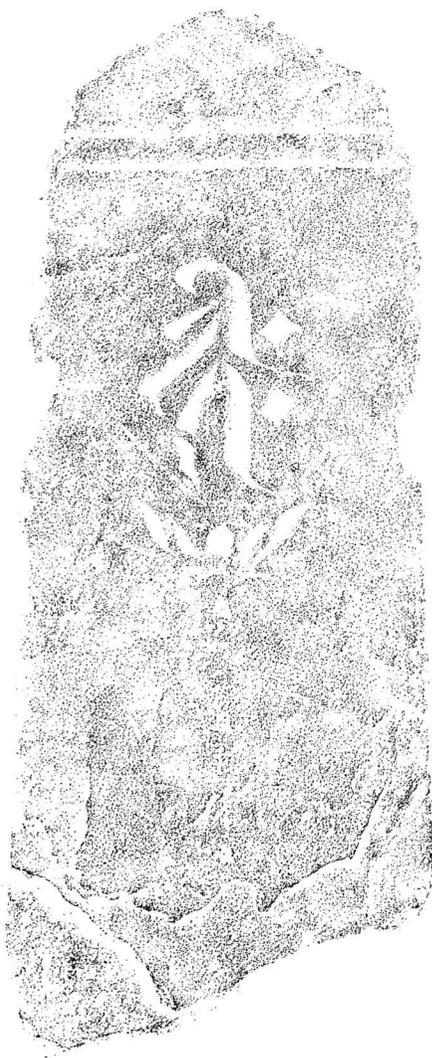
- 〔出土地〕 明泉寺
 〔寸法〕 全長 53.0cm
 幅 17.5cm
 厚さ 3.0cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔法式〕 弥陀種子一尊板碑
 〔残存状態〕 ほぼ完存
 〔種子〕 キリク（阿弥陀）、蓮台
 〔銘文〕 なし
 〔所蔵者〕 明泉寺



No.30

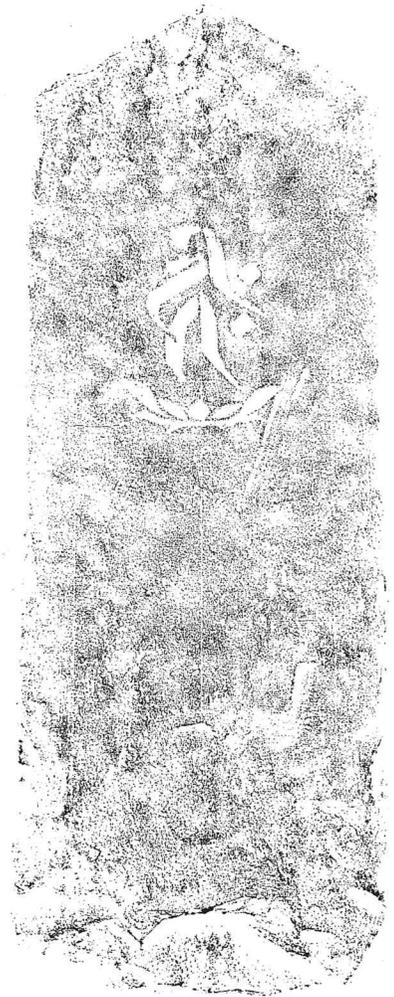
〔出土地〕 不明
 〔寸法〕 全長 67.0cm
 幅 23.8cm
 厚さ 3.7cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子三尊板碑
 〔残存状態〕 ほぼ完存
 〔種子〕 キリク（阿弥陀）、月輪、蓮台
 〔脇種子〕 サク（勢至）、サ（観音）

〔銘文〕 妙法
 文明□□
 禪尼
 〔その他〕 二条線、杵線
 〔所蔵者〕 中佐都小学校



No.31

- 〔出土地〕 不明（後世移入）
 〔寸法〕 全長 56.0cm
 幅 23.0cm
 厚さ 2.3cm
 〔石質〕 緑泥片岩
 〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
 〔残存状態〕 ほぼ完存
 〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
 〔銘文〕 嘉暦二年十一月 日
 〔その他〕 二条線あり
 〔所蔵者〕 神津得一郎（佐久市志賀）



No.32

- 〔出土地〕 武蔵国地藏院
〔寸法〕 全長 52.5cm
幅 19.4cm
厚さ 2.0cm
〔石質〕 緑泥片岩
〔様式〕 弥陀種子一尊板碑
〔残存状態〕 完存
〔種子〕 キリーク（阿弥陀）、蓮台
〔銘文〕 なし
〔その他〕 枠線あり
〔所蔵者〕 佐久教育会

1. 佐久市の板碑

本書には32基の板碑を記載したわけであるが、この他に瀬戸中城平の出土品が数点行方不明となっているものがあり、佐久市内の板碑の総数は更に増すはずである。32基のうち、当地以外のもの2基、出土地不明のもの2基の計4基が含まれているため、現在佐久市内出土の板碑は28基確認されていることになる。

1) 分布について

市内における分布は、第1図佐久市板碑分布図に示したように、千曲川流域及び千曲川に近い支流の沿岸に多くみられる。

最も多い大沢地家の長命寺址から18基の出土があり圧倒的な量を示している。次いで、瀬戸中城平で現在粉失しているものを加えると6基程を数える。

またこれらの出土地は中世から開創寺院^(注1)であり、隣接地に中世の城館跡があることから、歴史的に恵まれた条件下で造立されているようである。ただ願文等が刻してあるのは、No.8長命寺址の「右慶禅尊霊逝去」のみだけで、直接供養者の判銘する資料はない。

2) 形式

いわゆる武蔵系といわれる秩父産の緑泥片岩製の板碑^(注2)であり、石田茂作氏の分類に従うと、典型的板碑で、上部を三角に切り、その下に二条の切れ込みをつくり、中部に梵字または仏像を表わし、下方に年月日その他を刻したものである。そして典型板碑の分類として、図像・題目・梵字・連碑・名号板碑をあげている。そのうち佐久市内には、梵字と図像板碑がある。

梵字板碑は弥陀三尊種子板碑と一尊種子板碑がある。三尊種子板碑は14基と最も多い。この中には三尊種子とその下に光明真言を刻んだ偈文と紀年銘をもつもの(A1型—No.3・4・8)、三尊種子と紀年銘だけのもの(A2型—No.5・6・25)、三尊種子の上に天蓋、下に花瓶を刻み、その間に紀年銘をもつもの(A3型—No.1・16・24)とがある。A1型は、ことに大型品とおもわれるものが多く、全長の残存するものはないが、No.3の龍雲寺のものなどは、全長170cm近くを測ると思われる。幅30~40cmを測り、頸部に二条の切り込みを持ち、梵字も薬研彫りされたみごとな板碑である。A2型はNo.5長命寺址の板碑のように大形のものと、No.14のように小型のものとの両者があり、小型のもの紀年銘を持たないものが多い。A3型は、長さの割合には幅30cm前後と広く、二条線をもっていない。佐久市にあるA3型の板碑の梵字の彫りは浅い。

一尊種子板碑は11基あり、種子と蓮台、その下に紀年銘をもつものともたないものがある。No.2の嘉暦銘の板碑は二条線を彫り込み、種子も深く薬研彫りされている。No.26の中城平の板碑になると蓮台ももたず浅い彫りである。二条線もない。佐久にある一尊種子板碑は小型品が多くみられ、全長53~67cm、幅17~22cmを測る。(B型)

図像板碑は2基のみで、阿弥陀一尊の来迎図で長命寺址出土である。小型品で、No.22が全長43.5

cm幅13.8cm、No.23が残長24.0cm幅13.5cmを測る。(C型)

2) 造立年代

佐久市出土の板碑の中で、紀年銘のあきらかなものは6基のみで、最古は落合時宗寺の弘安3年(1280)年であるが、紀年銘部はかなり不鮮明で判読が困難な資料である。

确实なところは、野沢白拍子出土の嘉暦4年(1329)銘、龍雲寺の元徳2年(1330)が古い資料である。最も新しいものは出土地不明のNo.30中佐都小学校蔵の板碑で文明年間(1469~1489)である。ただ判読不明資料もあるため板碑の造立年代がいつごろ多く、いつごろ少ないかは、測り知れないが、南北朝期の資料が多いように様式等からは推測される。

注1 長命寺址 大沢地家にあり、寛平5年(893)の創建と伝わっているが、はっきりした資料はなく、天正年間兵火にあって消失している。現在の長命寺は元禄10年、大沢城山の地に移ったものである。

中城平 現在は宗福寺の裏手にあたる。

龍雲寺 正和元年(1312)創立、曹洞宗

明泉寺 天長三年(824)創立、天台宗

安養寺 創立は不明であるが、室町時代には、岩村田大井氏の菩提寺としての記録がある。臨済宗

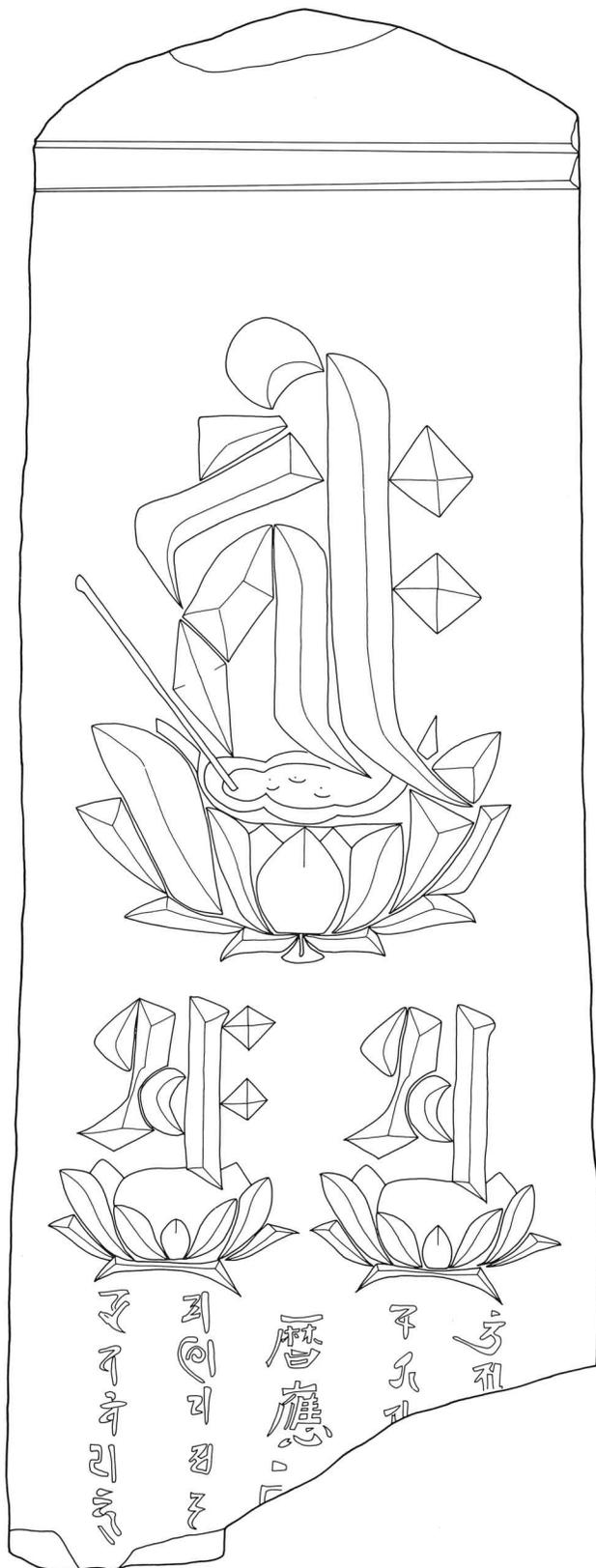
時宗寺 天正十八年(1590)創立。曹洞宗

注2 白倉盛男先生の鑑定による。

注3 石田茂作 1969 『日本仏塔の研究』

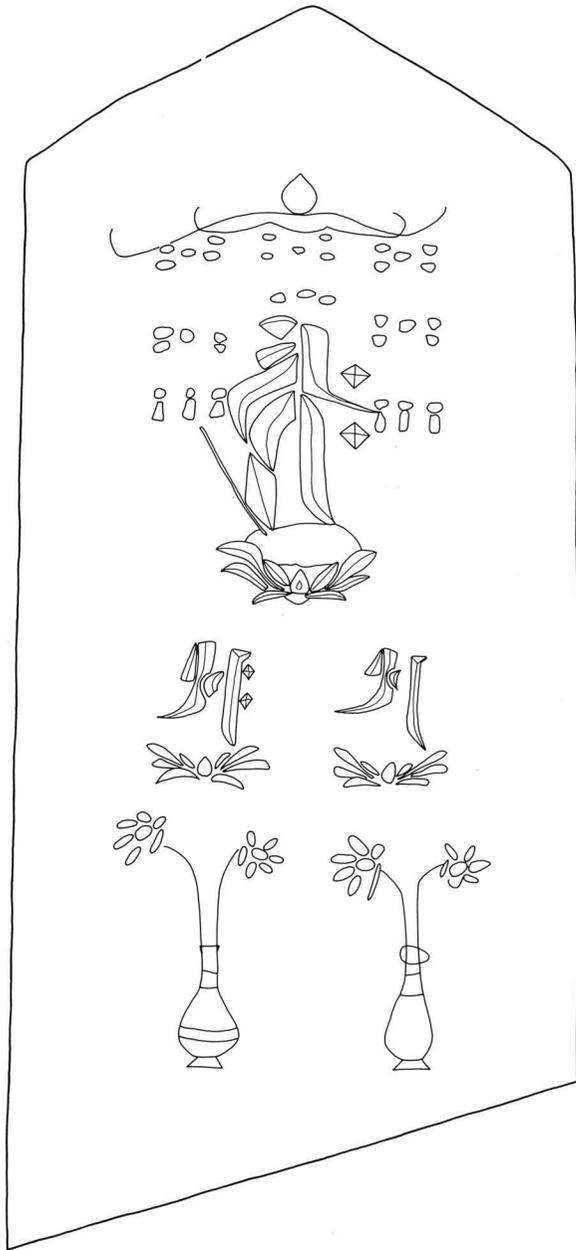


第1図 佐久市板碑分布図 (1 : 100,000)



- A 1 型
- No. 3 龍雲寺
- No. 4 正樂寺
- No. 8 長命寺址
- A 2 型
- No. 5 長命寺址
- No. 6 //
- No. 8 //
- No. 9 //
- No.10 //
- No.11 //
- No.12 //
- No.14 //
- No.15 //
- No.25 時宗寺

第 2 図 正樂寺板碑実測図

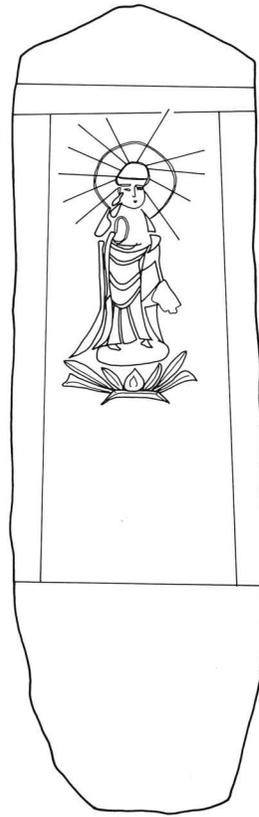


A 3 型
 No.1 時宗寺
 No.16 長命寺址
 No.24 原字宮卷出土

第 3 図 時宗寺板碑実測図



第4図 明泉寺板碑実測図（B型）



第5図 長命寺址板碑実測図（C型）

佐久市板碑一覧表

No.	出土地	残存状態	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考	所蔵者
1	時宗寺	基礎部欠損	67.0	30.5	3.7	弥陀種子三尊板碑、天蓋、花瓶 弘安三年五月(1280)・紀年銘磨滅著しい	落合時宗寺
2	野沢	完存	69.7	20.0	2.2	弥陀種子一尊板碑、二条線 嘉暦四年二月日(1329)	佐久市野沢 竹内治利氏
3	龍雲寺	上部欠損	85.0	40.0	3.5	弥陀種子三尊板碑 光明真言、元徳二年庚午八月八日(1330)	岩村田龍雲寺
4	不明	下部欠損	85.0	31.5	4.2	弥陀種子三尊板碑、二条線、光明真言、曆応四□□…(1341) 佐久市文化財指定	中込正楽寺
5	長命寺址	片側下部残	48.0	20.5	2.0	弥陀種子三尊板碑 延文五年庚子二月(1360)	佐久市大沢地家 阿部虎雄氏
6	〃	上部欠損	61.0	24.5	2.8	弥陀種子三尊板碑 永和二文月(1376)	大沢小学校
7	明泉寺	完存	53.5	20.0	4.2	弥陀種子一尊板碑、杵線 永和三才七月 日(1377)	香坂西地明泉寺
8	長命寺址	下部残存	46.0	35.7	3.5	光明真言、□□月廿二日 右慶禅尊靈逝去、杵線	大沢小学校
9	〃	下部欠損	48.0	28.0	3.5	弥陀種子三尊板碑	大沢長命寺
10	〃	下部欠損	44.0	20.0	3.5	弥陀種子三尊板碑、二条線	〃
11	〃	種子残存	35.0	29.0	3.8	弥陀種子	〃
12	〃	下部欠損	38.5	22.5	2.5	弥陀種子三尊板碑	大沢竜泉院
13	〃	種子残存	17.0	23.0	1.8	弥陀種子	大沢小学校
14	〃	頭部・下部欠損	48.0	30.5	2.5	弥陀種子三尊板碑、脇待種子の蓮台なし	〃
15	〃	上部一部下部欠損	78.0	32.0	3.0	弥陀種子三尊板碑 三界萬靈逝去、寛□(寛元1243~1246、寛正1460~1466)	大沢竜泉院
16	〃	下部残存	44.0	27.0	2.8	花瓶2	大沢竜泉院
17	〃	下部残存	56.0	23.5	2.5	杵線、判読不明紀年銘あり。	〃
18	〃	完存	60.0	21.0	3.7	弥陀種子一尊板碑	大沢小学校
19	〃	〃	67.4	21.5	3.0	弥陀種子一尊板碑	〃

No.	出土地	残存状態	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考	所蔵者
20	〃	頭部一部欠損	56.0	21.0	2.5	弥陀種子一尊板碑 石質 絹雲母片岩で剝落著しい	大沢地家 阿部虎雄
21	〃	上部一部欠損	55.5	17.5	3.0	弥陀種子一尊板碑	〃
22	〃	完存	43.5	13.8	2.0	阿弥陀来迎図、枠線	大沢小学校
23	〃	下部欠損	24.0	13.5	1.7	阿弥陀来迎図	泉小学校
24	大字原字 宮巻38の 墓地	上部一部欠損	73.0	27.0	2.5	弥陀種子三尊板碑、花瓶	佐久市大字原428 長岡三八男
25	時宗寺	完存	62.5	23.0	3.5	弥陀種子三尊板碑	落合 時宗寺
26	瀬戸 中城平	〃	40.0	14.0	2.2	弥陀種子一尊板碑 蓮台なし	瀬戸 柳沢 護
27	〃	上部欠損	42.4	17.2	2.5	弥陀種子一尊板碑	瀬戸 桜井忠一郎
28	安原安養 時付近	種子残存	43.3	22.0	2.7	弥陀種子一尊板碑	佐久教育会
29	明泉寺	完存	53.0	17.5	3.0	弥陀種子一尊板碑	明泉寺
30	不明	〃	67.0	23.8	3.7	弥陀種子三尊板碑、二条線、枠線 文明□□、妙法禅尼 (1469~1487)	中佐都小学校
31	〃 (後世移入)	〃	56.0	23.0	2.3	弥陀種子一尊板碑、二条線 嘉暦二年十一月 日(1327)	志賀 神津得一郎
32	武蔵国 地蔵院	〃	52.5	19.4	2.0	弥陀種子一尊板碑、枠線	佐久教育会

引用参考文献

- 1, 服部清道 1933 「板碑研究史」(『板碑概説』)
- 2, 川勝政太郎 1956 『日本石材工芸史』
- 3, 小沢国平 1967 『板碑入門』隣人社
- 4, 岩村清 1973 「板碑研究入門」(『考古学ジャーナル』86,)
- 5, 久保常晴 1973 〃
- 6, 干々和実 1972 「板碑源流考」(『日本歴史』284・285)
- 7, 服部清道 1979 「板碑」『新版考古学講座7有史文化(下)遺物』雄山閣

板 碑 佐久市板碑図録集
昭和57年 3 月31日発行
編 集 佐久市教育委員会
発 行 者 佐久市教育委員会
印 刷 所 株式会社 佐久印刷所